エアコン設置・取扱い上のご注意

設置場所について

・一般のエアコンでは工場での油（切削油など鉱物油）の飛沫や雰囲気のたちこめる場所では、油が熱交換器に付着し、熱交換不良による霧の発生、合成樹脂部品の変形破損、熱交換器の腐食、断熱材のはく離などをひきおこすことがありますので、設置を避けてください。
・酸性またはアルカリ性（温泉地帯の硫化ガスの多い場所、燃焼器の排気を吸込む場所）など、一般の雰囲気と異なる場所には熱交換器等に腐食を起す恐れがありますので、設置を避けてください。（海岸地帯の潮風が直接当たる場所では耐塩害仕様室外機の設置をお勧めします。）
・可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れの恐れのある場所やカーボン繊維のような引火物が浮遊する場所は避けてください。
・工場など電圧変動の多いところ、調理場など油の飛沫や蒸気の多いところへの設置は避けてください。
・飲食店で焼肉・お好み焼店等、油煙（オイルミスト）が発生するところや、調理場と空間的に続いているところは下記の対応を必ず行ってください。

天井埋込カセット形〈ラウンドフロータイプ〉、ショーカセ、ワンダ風流、天井吊形室内機の場合は別売のオイルガードフィルタを取付けてください。壁掛形は「飲食店向け壁掛形」を使用してください。
（厨房には厨房用エアコンをお勧めします）

・電気的なノイズが問題となるような場所では、その影響を充分に考慮した設置・機種選定を行ってください。特に電子機器類などが設置されている場所からは室内ユニットも含め、離れた場所に設置することをおすすめします。
・台風や強風、地震も考慮し、機器質量に充分に耐えられる設置にしてください。強度不足の場合、破損や倒壊、落下をまねき非常に危険です。
・空調面積に対して負荷が大きいサーバールーム等では、サーモオフ等で室温が急激に上昇する場合があります。
・車両、船舶への設置はできません。

据付について

・各機器の所要スペースを確保した併設をお願いします。
・各機器の据付は、販売店または専門業者にご依頼ください。ご自分で工事をされ不備があると、水漏れ、漏電、倒壊などの原因となります。また『据付説明書』をよくお読みの上で、正しく据え付けてください。
・エアコンの故障が重大な影響を及ぼす恐れがある場所では、2系統以上の室外ユニットによる室内ユニットの複数台設置をおすすめします。
・ヒートポンプ式の暖房は、特性として外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。寒冷地など、特に外気温度が低くなる地域では能力不足の可能性もあります。また、温風が天井付近にこもり、足元が暖まらない場合も考えられます。このような場合、別途、加熱装置が必要となる場合もありますので、お買い求めの際に、販売店と相談の上で、機種やシステムを選定してください。
・個別◎ZEAS-Qの場合、室外ユニットの容量より多い室内ユニットが接続できますが、この場合、接続された室内ユニットが同時運転した場合に定格能力を下回る場合がありますのでご注意ください。
・室外ユニットの設置場所において吹出し方向に隣のビルや塀などの障害物が近接している場合は、ショートサーキットが生じることがあります。このような場合は弊社に設置場所についてご相談ください。
・個別◎ZEAS-Qの場合、REFNET配管部材の展開において、REFNETヘッダーの下流には分岐部を設けないでください。また、22.4・28.0kW形室内ユニットの接続もできませんのでご注意ください。
・室外ユニットよりドレン水が発生する場合がありますので、基礎の周囲に排水溝を設け、機器周囲の排水に留意してください。また、屋上に据え付ける場合は、床の防水処理も必ず行ってください。

積雪が予想される地域での据付について

・降雪は室外ユニットの空気吸込口を塞いだり、内部を凍結させる場合がありますので、降雪地域では、冬の季節風が吸込口に直接当たらない方向に据え付け、防雪フード（別売品）を取付けてください。
・防雪フードを取付ける場合は、防雪フードを含んだ寸法を製品寸法として所要スペースを確保してください。
・積雪も室外ユニットの空気吸込口を塞いだり、内部を凍結させる場合がありますので、積雪地域では、予想される積雪より50cm以上高い架台の上に据え付けてください。
・除霜運転時に出るドレン水が凍結するおそれがありますので、次のような対策を実施してください。
①室外ユニットの底板の下面に氷が成長しないよう、室外ユニットの底板が基礎面より十分な高さに据え付ける。（50cm以上空けることを推奨）
②底板内でドレン水が凍結しないよう、ドレンパンヒーター（別売品）を使用する。
③ドレンプラグやドレン管が凍結するおそれがあるため、集中ドレンプラグ（別売品）は使用しない。

ご使用に際して

・ご使用の前に必ず各機器の『取扱説明書』をよくお読みになった上で、正しくお使いください。
・各機器の点検、清掃には危険を伴うものや専門技術を必要とするものがありますので、『取扱説明書』をよくお読みの上、正しく作業を行うとともに、室内ユニットの清掃など専門技術を必要とする作業については、必ず販売店や専門業者にご依頼ください。

室内機の洗浄について

・室内機の内部洗浄には専門の技術が必要ですので販売店にご相談ください。

別売品・オプションシステムについて

・各種別売品は、必ず当社指定の商品をご使用ください。また、取付けにおいても販売店または専門業者にご依頼ください。ご自分で工事をされ不備がありますと、水漏れや漏電、倒壊、火災などの原因となります。また、取付けに際しては『据付説明書』を、ご使用に際しては『取扱説明書』を事前に良くお読みいただき、正しくお取扱いください。
・別売品に関わらず、加湿器には上水道もしくはそれに準じた水質の水をご使用ください。尚、自然蒸発式加湿器ではシリカ分を多く含んだ水を供給すると白い粉が飛散する場合がありますので、水処理業者などにご相談のうえ軽減対策をご検討ください。
・D-BACSシステムの各機種の導入には、弊社との事前の打合せが必要です。ご計画の際にお問合せください。
・Ve-upコントローラーや料金管理ユニットの料金計算は計量法によるものではありませんので、公的取り引きには使用できませんのでご注意ください。
・Ve-upコントローラーや料金管理ユニットには氷蓄熱タイプと非氷蓄熱タイプを同一ラインで接続することができませんのでご注意ください。
・D-BACSシステムの空調管理システムとビル設備管理システムは同一のラインに接続することができませんのでご注意ください。
・フィルターは必ずダイキン純正品をご使用ください。他社製を取付けた場合、充分な性能が発揮できなかったり、運転音が大きくなったりする場合が考えられます。
・空気清浄ユニットや脱臭ユニットはダイキン純正品をご使用ください。他社製を取付けた場合、エレメント部から発生するアークノイズにより、空調機が誤動作する可能性があります。また、空調機とは発停以外の通信が行えませんので、機器に異常が発生してもリモコンには表示されません。
・空気清浄ユニットや脱臭ユニットは空調機の風量により処理能力が決定されますので、必ずしも設置された空間に適した清浄能力が発揮できるとは限りません。充分な空気清浄を行う場合は、不足分に適した空気清浄機クリエールや脱臭機エステゾン、光脱臭機能付全熱交換器ユニット「光ベンティエール」の併設をおすすめします。
・別売品は、その組合せやエアコン本体の設置条件により採用や併用ができないものがありますので、ご検討の際にご確認ください。
・別売品によっては、エアコン本体の外形や外観、質量、運転音、その他能力特性が変化する場合がありますので、ご注意ください。
・別売品やオプションシステムにはダイキン工業（株）扱いの商品と、オーケー器材（株）扱いの商品がありますので、ご確認ください。尚、現地調達品についてもオーケー器材（株）で多数取り揃えておりますのでお問合せください。

耐塩害仕様について

・耐塩害または耐重塩害仕様の機種を採用しても、腐食に対して万全とは言えません。機器の設置や日常のメンテナンスにおいては『据付説明書』『取扱説明書』に示す諸注意を遵守してください。
・耐塩害、耐重塩害仕様機種の設置、メンテナンスの留意点を必ずお読みください。

受注生産品について

・受注生産品は、標準品と外形や質量、能力等が多少異なる場合がありますので、ご検討の際にお問合せください。
・受注生産品は、ご発注より納品まで標準品より若干の日数を要しますので、ご検討、ご発注の際に納期をご確認ください。

冷媒漏洩について

・本エアコンに使用しています冷媒R410A（HFC410A）は、それ自身は無毒・不燃性ですが、万一、建物内に漏れた場合、その許容量を越えるような小部屋では、換気装置などによる冷媒漏洩への対策が必要となります。

厨房用エアコンについて

・室内機の据付け場所は、水蒸気・油・粉などを直接吸い込む恐れのない場所を選んでください。高湿度（約70%以上）にて長時間運転すると、吹出口に露がついて滴下したり、霧吹き、露飛びが発生することがあります。